

専徳寺報

第463号

令和3年10月30日発行

浄土真宗本願寺派

専徳寺

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

①<http://sentokuji-iwakuni.net/>

専徳寺

検索

②Youtube「ひかりといのちきわみなき」



専徳寺納骨堂受付中



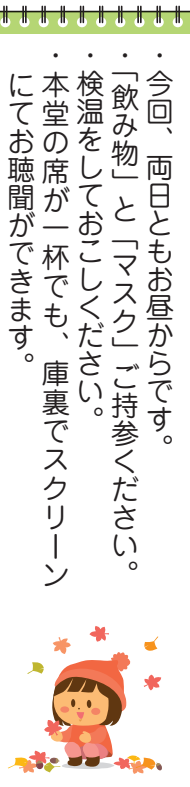
フルトップを
回収します

ご協力よろしく
お願いいたします。



●参拝セット（念珠・聖典・式章・聴聞カード）

どうぞお持ちください。



※初めてご出教賜ります。

内藤 昭文 師（中津市）

ご講師 本願寺司教

日時

11月12日（金） 昼 1時半～3時半
11月13日（土） 昼 1時半～3時半

永代経法要

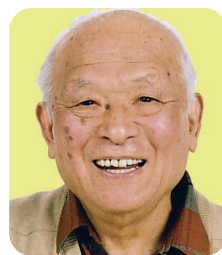
御案内

み仏の教え（経）を、子や孫に、永代に伝えていく（永代経法要）です。報恩講・降誕会と並ぶ三大法要の一つです。コロナ禍も落ち着いている現在、法座の時間を二時間に戻します。

ご都合をつけてどうぞご参詣ください。

ご命日…あの人に会いたい

第四回…水木しげる（マンガ家、命日・11月30日）



大切な人を思い出すご命日。朝のお仏壇へのお礼が、少し味わい深いものになります。

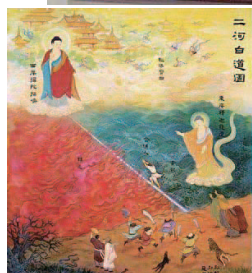
水木しげるさんは、1922年、大阪府生まれ。鳥取県境港で育ちます。太平洋戦争で激戦

地ラバウルに出征し、左腕を失って復員。紙芝居画家を経てマンガ家となります。代表作に『ゲゲゲの鬼太郎』『河童の三平』『悪魔くん』など。1991年紫綬褒章、2003年旭日小綬章受章、2010年には文化功労者を受けられました。今年7回忌です。

晩年、東京の覚証寺（浄土真宗）のご門徒となり、同寺には水木さん作「二河白道」の絵があります。「二



二河白道



元々の二河白道図

河白道」は浄土往生を願う私たちが、信心を得て浄土に往生するまでを譬喩によって表したものです。ご興味のある方はおたずねください。

如来・人・言葉
124

こころの目 (前半)

福間 欣嗣 (きんじ)

わが子よ

東京都青梅市にある吉川英治記念館に、たくさんの遺品と共に英治氏自筆の次の歌が展示してあります。

やよわが子 汝はいずれの旅をへて
われを父とは生まれ来ませり

わが子に呼びかけたこの歌から、親と子という最も骨肉の密着した人間の間柄を見透している、深いまなざしが感じられないでしうか。

はたしてこの歌には、二行ほどの前書きがついておりまして、

仏法に、父母未生前の命の不思議を説けり

とあり、続いて、

香屋子 わが家に生まれける日に

と読めます。

父母未生前の命とは親に産み落とされる以前の生々流転のいのちであります。つまり吉川英治氏は、仏教にうちかわれた深いまなざしで、わが子香屋子との出会いを見つめているのであります。

年譜をみると、「昭和二十五年、次女香屋子誕生。この年、新平家物語に着手。英治五十九歳」とあります。すでに小説『親鸞』を書き、続いて『宮本武蔵』『新書太閤記』などを世に出し、次の大作に着手された年で、父となる年齢としては遅い方ではありますが、それだけにわが子を見つめる目の深さは、さすがというほかありません。

生まれ来ませり

今日、親子断絶がしきりに取り沙汰されておりますが、親子の関係は一親等という最も近い血縁であり、愛情がもつれたときの傷は、両者のきずなが近いほど深刻であります。

かつては「子は授かりもの」といわれ、天からあるいは仏さまから授かった子だから、一人前に育てさせていただき世に出さねばならないと考えられておりました。いまやわが子は「所有物」であります。親の都合で計画的に生んだり、生まなかつたりすることのできる「しらえ物」であります。

ところがある時期が来て、その所有物が独立しようと反抗を始める、所有者はあわてふためきます。掌中の宝物が自分で逃げ出すのですから、親は悔しがつて感情をぶつける。「だれのお蔭で大きくなった



〔吉川英治記念館〕

と「思つて」と、言つてはならぬ言葉を投げつける。一方、子どもの方は親から恩に着せられたことに腹を立て、腕力をぶつける。そこで所有物は一転して「邪魔物」となり、こうして家庭内暴力と家出は増えていきます。

さて吉川英治さんの歌に戻りますが、この歌の、「われを父とは」の句に注目しましょう。この言葉には、単に血肉を分けただけのわが子でない、もちろん所有物や従属物ではない、「いずちの旅をへて」か、めでたく人間の世に生まれ出てくれたいのちに対する、畏敬の念がこめられた言葉であります。

仏教から言えば、親は子の出生の因、つまり原因ではなく、独生（どくしょう）独来（どくらい）のその子が生まれ出づる縁、ご縁でしかないのであります。

だからこそこの歌の結びは、「生まれ来ませり」と、敬語で終わっているのではありません。わが子は「やよ」と呼びかけずにはいられない、かわいいうつではあります。一方また、尊（とうと）い存在（そんざい）なのです。それは、人間に生まれ出たこのたび、尊（とうと）いみ仏になるべき身だからであります。



〔吉川英治〕

敵にも敬語

テレビの大河ドラマに登場する武士たちが、戦っている相手に敬称をつけて呼んでいるのにお気づきでしょうか。源氏と平家は互いに相手に「相国殿（さうこくどの）」「鎌倉殿（かまくらどの）」「源頼朝（げんらいちょう）」「判官殿（はんぐわんだん）」「源義経（げんぎけい）」と呼び合い、赤穂（あこう）の浪士たちは「吉良殿（きらだん）」といい、家康は「三河殿（みかわだん）」と呼ばれております。政敵に対してすぐに「だれそれに死を！」とシユプレヒコール（※1）する、似顔を描いて踏みこむ心情とは全く異なっております。日本人のこの同朋に対する、そしてあるいは敵

方に対する敬愛の念は、仏教が長い間かつて培（つちか）ったものであります。少し余談になりますが、法律によつて人の命を奪う「死刑」の廃止された国がいくつかあります。イタリアのトスカナでおよそ二百年前の一七八六年に廃止されたのが最初とされておりましたが、実は日本の方がずっと早いのであります。聖武天皇（しょうむてん）——あの奈良の大仏を建立された天皇であります——の代、西暦では七二四年という年に、一時的ではありましたが、死刑廃止が定められたのであります。平安時代になると、嵯峨天皇（さか）は宣旨（せんし）をもつて法律を改め、以後、保元（ほうげん）の乱で源為義（なめよし）が処刑されるまで、実に三百四十七年間、日本では死刑がなかったのであります。

さて吉川英治さんの歌に戻りますが、「汝（なれ）はいずちの旅をへて」という言葉から私は、『歎異抄（たんいしょう）』の、

一切（いっさい）の有情（うじよう）はみなもて世々（せせ）生々（しょうしょう）の父母（ふぼ）兄弟（けいどう）なり。いづれもいづれも、この順次（じゆんじ）生（な）に仏（ほとけ）になりてたすけ候（さう）ふべきなり（※2）。

という親鸞聖人のお言葉を思うのであります。吉川さんもこの歌をつくるとき、この『歎異抄』第五条が頭をよぎったにちがいありません。というのは、同じ吉川英治記念館に、次の俳句を見いだしたからであります。

歎異抄 旅に持ち来て虫の声 英治

（つづく）

※1 シユプレヒコール…集会等の場で、声を揃えて同じフレーズを大声で何度も繰り返すこと。旗やプラカード、横断幕をともなつて行う事が多い。
 ※2 現代語訳すると、「命あるものはすべてみな、これまで何度となく生まれ変わり死にかわりしてきた中で、父母であり兄弟・姉妹であったのです。この世の命を終え、浄土に往生してただちに仏となり、どの人をもみな救わなければならないのです。」

寺内だより

●み仏にいだかれて〔葬儀勤修〕



●ご恩を偲び〔法事勤修〕 9月5日〜10月26日

●おめでとうございます

法物下附式（入仏式）

お給仕の慶び一入に存じます。

●ご報告いたします

▼秋讃仏会法要余香（9月27・28日）

下松の藤本唯信先生より、ご開山の「衆禍の波転ず」の御文のお取り次ぎを賜りました。パラリンピックの意義、御尊父の末期医療に

まつわる体験談等も有り難く聴かせていただきました。

【参詣者】（30日）昼座56名、（1日）朝座45名
【お鉢米】 木村勲様

●ご案内します

▼境内清掃作業―専徳寺倶楽部

今年も門徒男性による境内清掃作業を行います。ご加勢よろしく願いいたします（懇親会未定）。

【日時】12月18日（土）・15時半〜17時

【申し込み】お寺へご連絡ください。

（電話：3811124）

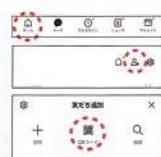
若い世代へすすめてください

浄土真宗版 謎解きゲーム（LINE専用）

若者向けのゲームですが、大人でも楽しめ、最後はとてありがたい内容です。スマホで LINE アプリをお持ちの方は挑戦してみてください。

お仏壇の三具足の見方が変わるかもしれませんよ。

謎解きゲームへの参加方法（遊び方）



①LINEアプリを起動して、左下の「ホーム」→右上の「友達追加」→真ん中の「QRコード」と隣にタップし、QRコードリーダーを起動する。



②カードに記載されたQRコードを読み取る。



③青より受け継がれし宝

④アカウントが表示されたら「追加」をタップ。



④「トーク」をタップ。



⑤画像と文章が送られてくる。【 】のなかにある「せつめい」という言葉を入力する。



⑥遊び方を確認したら、ゲームスタート！送られてくる文章や画像、動画に従って解き進めていく。



参加方法

この謎解きゲームは、LINEアプリを使用します。右記QRコードにアクセスし、表示される専用アカウントを友達登録をしてください。LINEアプリ上で解答を送信することでゲームが進んでいきます。



LINEで友達登録しよう！

遊び方

- ①メモ用紙と筆記用具を準備しよう！
- ②LINEのメッセージをよく読んで、【1】内の言葉を入力しよう！
- ③表示された謎を解こう！
- ④どうしても分からない時は謎と一緒に送られてくる3ケタの数字を入力しよう！
- ⑤答えが分かったら、その言葉を入力して送信しよう！正解なら次へ進めるよ！
- ⑥「Clear」の画面が出たらクリアだ！

注意事項

- ①この謎解きゲームは、LINEアプリを使用します。映像や画像の配信を含むため、Wi-Fi下での使用をおすすめします。（通信料は各自でご負担ください）
- ②この謎解きゲームでは、音が出ます。音ナシ（消音状態）でも遊べますが、音ありの場合には周囲の環境にご配慮ください。
- ③制限所要時間：30分〜60分程度
- ④年齢制限・人数制限はありません。わからないときは協力して解いてみてください。

企画：浄土真宗本願寺派子ども・若者ご縁づくり推進室
制作：Toy×ポーズ

